

田中正造と 福田英子

— 「その後」の谷中村で—

★福田英子（ふくだひでこ）は、明治期に女性の権利確立のために活躍しました。『世界婦人』を創刊し、自由民権運動の「女傑」としても有名ですが、生活は4人の子を育て、実母の世話もし、雑誌発禁、罰金など経済的にも苦難の連続でした。そんな英子が実は、「その後」（谷中村強制破壊後）の田中正造の戦いを支えた一人でした。谷中村への物資支援、正造臨終にも駆けつけ、正造死後も裁判闘争を続けたのです。

★今回の企画展では、①英子の語る4「正造」②「女性解放運動家」英子③雑誌『世界婦人』の主筆④正造と英子の「交信」を柱に、当時の雑誌（コピー）等、貴重な資料も展示しながら、2人の交流の姿を紹介します。みなさんのご来館をお待ちしています。



大きな目もちながら、
現実に向き合いつつ、
正造さんの谷中村の戦い
を支え続けた英子。
正造さんは、最後の正月を
英子宅を訪れ、穏やかに
過したのでした

2019年 2020年

11月1日～1月31日

午前10時～午後4時

入場無料 開館日；火・木・土・日曜

年末は29日まで、新年は4日から開館

足尾銅山鉍毒事件と正造さんの生涯の通常
展示、被害地立体ジオラマ、紙芝居、関連書
籍、2020正造カレンダー等用意してお待ち
しています。

ちようど暮の三十一日の晩におい
でになりました。ふところから五円
の札をお出しになって
「これで見かんに屠蘇でも買って、
こちらで年越しをさせていただき
たい」という御頼みでありました。
その三が日はめずらしくお屠蘇に
お酔いになりました。唐紙にするす
るとたくさん字を書いてください

NPO 法人 足尾鉍毒事件田中正造記念館